



# 節の操作 (前回までのあらすじ)

節Cに「テ」が「含まれる」とする。

● 1. 三下であるとき

・節約を削る。

●. 1=F であるとき

・節Cから元ラレを削除する。

$(a \vee l)$



(a

V

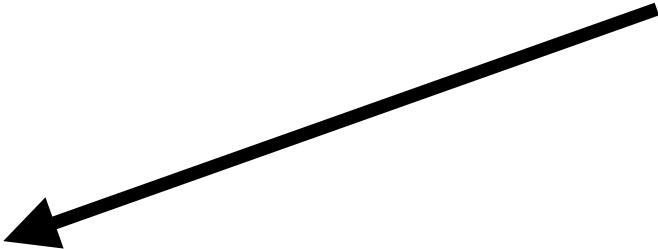
*l*



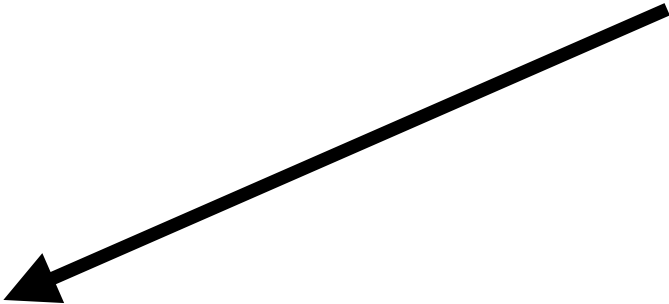
=> 最終的に全ての節が"消えれば" SAT  
空節 (リテラルを含まない節) が"残れば" UNSAT

節全体が「下」だから、これ以降

考える必要がない



そのリテラルは、これ以降  
考える必要がない





10

# 節の操作 (前回までのあらすじ)

節  $C$  にリテラル  $l$  が含まれているとする。

- $l = T$  であるとき

節全体が  $T$  だから、これ以降  
考える必要がない

- 節  $C$  を削除する。

- $l = F$  であるとき

そのリテラルは、これ以降  
考える必要がない

- 節  $C$  からリテラル  $l$  を削除する。 (a)

=> 最終的に全ての節が消えれば SAT  
空節 (リテラルを含まない節) が残れば UNSAT

# 節を操作してみよう (前回までのあらすじ)

$$(a \vee b \vee \neg c) \wedge (\neg b \vee c)$$